

革新的将来宇宙輸送システム実現に向けたロードマップ検討会 議論の進め方について

2020/12/2

文部科学省研究開発局

1. 議論の進め方

検討会の議論対象である、2040年頃の社会ビジョン（あるべき社会、宇宙輸送に求められるもの）について議論頂き、将来宇宙輸送のミッションを明らかにする。それぞれのミッションについて想定される需要の観点、技術実現性の観点等から評価し、将来宇宙輸送システムの在り方やその実現に向けた制度設計（官民の役割分担及び体制、研究開発の方法、非宇宙分野の参入方策、等）について議論を進めていく。

2. 想定されるミッションの考え方の整理（例）

| | | 行き先 | | | |
|------|----|-----------|--------|-----------|---|
| | | サブオービタル軌道 | 低・静止軌道 | 深宇宙(月・火星) | 他 |
| 輸送対象 | 有人 | | | | |
| | 無人 | | | | |
| | 他 | | | | |

3. ミッションを評価する主な観点と具体的な評価軸（案）

●想定される需要の観点

- ・ 必要性（安全保障、国際協力、防災等）
- ・ 経済性
 （市場性（潜在市場規模と成長率）、グローバル市場の競争環境、投資実現性（初期投入資金規模と投資回収年数）、等）

●技術実現性の観点

- （機体性能（構造効率、比推力、リフトオフ加速度）、
 打上げ能力、現状の技術成熟度、安全性、環境適合性等）

以上